

■三田村鳶魚 隨筆家、江戸研究家。〈維新〉後否定されていた江戸時代の考証を在野で先駆、独自の学問的世界を樹立。

みたむらえんぎよ

初の日刊新聞1870＝ 八王子の織物業者三田村善平の二男に生まれるが、

家庭の事情で近くの寺に預けられ、

明治6年政変 1873＝ 3歳：

幼時東京に移住するが、

琉球処分・・・1879＝ 9歳：

明治14年政変1881＝11歳：

初の対等条約1888＝18歳：

帝国憲法発布1889＝19歳：

20歳台前半の経歴明らかでなく、

__青年時代は、三多摩壮士として、政治運動に関係し、

日清戦争始・1894＝24歳：

日清戦争終・1895＝25歳：__中外商業新報の記者として従軍するも、直ぐに帰国。戦後、寛永寺に入り大照師に従い、得度受戒、以後、僧から仏教学者になった島田蕃根の遺志を奉じ、神儒仏三教を研学する。

八幡製鉄始・1897＝27歳：

Bushidou・・・1899＝29歳：__読売新聞に「無頭学問」など3年間連載。

日比谷公園・1903＝33歳：__山梨日日新聞記者として甲府に在任、民報社、甲府新聞社にも在籍する。

日露戦争始・1904＝34歳：

日露戦争終・1905＝35歳：__甲府を離れ、__風俗画報に「甲斐方言考」を発表、

満鉄発足・・・1906＝36歳：

この間、__同誌に多くの連載をし、また赤穂義士に関連する調査も掲載して、

韓国併合・・・1910＝40歳：__政教社社員となる。世の義士賛歌とは反対の「元禄伏挙別録」を処女出版。この頃から{日本及日本人}を舞台に執筆活動を開始し、鳶魚の筆名で歌舞伎芝居と史実との関係を連載し始め、__続いて「芝居と史実」出版。

大逆事件判決1911＝41歳：

明治天皇没・1912＝42歳：

大正政変・・・1913＝43歳：__高松ヤエと結婚。__「江戸の珍物」刊。

第一次大戦始1914＝44歳：__国書刊行会から「列侯深秘録」を出版、以後2年間、同会から校訂ものを出版。以後5年、村山鳥徑の母ませ刀自から大奥女中の経験を聞き取る。この頃から、將軍及び大名の生活調査に集中し、

21ヶ条要求・1915＝45歳：

民本主義・・・1916＝46歳：__以降、江戸文化全般に拡張して行く。

ロシア革命・1917＝47歳：

__「東海道中膝栗毛」輪講開始。研究は明治にも及ぶ。早大出版部の「近世実録全書」で、坪内逍遙から助力を求められ、以後尊敬して交流。

べつじん条約・1919＝49歳：

大暴落・・・1920＝50歳：__「東海道中膝栗毛」刊、

__「芝居の裏おもて」出版。この年から演芸画報に連載するなど、演劇関係の執筆多産、

原敬首相暗殺1921＝51歳：__「大名生活の内秘」「足の向く盤」出版。

水平社結成・1922＝52歳：

__「上野と浅草」刊。

関東大震災・1923＝53歳：__史実から観た歌舞伎芝居「お大名の話」出版。

護憲三派圧勝1924＝54歳：__「近松の心中物自由恋愛の復活」「お江戸の話」「公方様の話」刊。

治安維持法・1925＝55歳：__「鳶魚隨筆」「娯楽の江戸」「鳶魚劇談」「芝と上野浅草」刊。以後、__演芸画報からは退場。

円本時代始・1926＝56歳：__「江戸の噂」「瓦版のはやり唄」「芝居ばなし」出版。__雑誌{彗星}創刊。

金融恐慌・・・1927＝57歳：__「西鶴輪講好色一代男」「江戸雑話」「江戸年中行事」刊。__「未刊隨筆百種」(23冊)校訂出版をはじめる。

共産党事件・1928＝58歳：__「芝居風俗」「西鶴輪講好色1代女」「騒動実記」(帝国文庫15)出版。

海軍軍縮条約1930＝60歳：__「御殿女中」「横から見た赤穂義士」「西鶴好色五人女輪講」出版。

満州事変・・・1931＝61歳：

__「著名な作家の作品を片端から批判した「大衆文芸評判記」。「江戸ッ子」から「江戸の白浪」「御家騒動」、

__「捕物の話」「江戸の女」まで、尊敬していた坪内逍遙との関係で、早大出版部から矢継ぎ早に刊行。

帝人疑獄事件1934＝64歳：

__「滑稽本名作集」「江戸の実話」出版。浅野老侯を訪う。

日中戦争始・1937＝67歳：

__「満月会」開催。

健保+総動員 1938＝68歳：__「機関誌{江戸讀本}創刊して「江戸語彙」を連載。

第二次大戦始1939＝69歳：__「江戸百話」出版。加賀騒動調査のため金沢へ赴く。__「時代小説評判記」で再び作家連を料理。

日米開戦・・・1941＝71歳：__「武家の風俗」「江戸の生活」から、

・・・1942＝72歳：__会津へ行き、帰宅。*「鳶魚縦筆」「江戸ばなし」「教化と江戸文学」まで出版。

創価学会検挙1943＝73歳：__会津へ赴く。伊豆龍沢寺に在任。

年金+総武装 1944＝74歳：__山梨県下部温泉の旅館に疎開。

敗戦・・・1945＝75歳：__平林寺に再疎開、終戦後平林寺聯芳軒に移転す。

__東京に戻ってからは、下部温泉の不二ホテルを宿とする。

三大事件・・・1949＝79歳：__寛永寺本覚院で{矢立会}発会。

独立回復・・・1951＝81歳：__妻ヤエが死去して一気に衰え、不二ホテルに赴く。

メデー事件・1952＝82歳：__没した。権少僧都を追贈された。

「没年日本史人物事典」、平凡社百科事典、山田風太郎「人間臨終図巻」、